

校長室から感じたままに No4

4月27日に「1年生を迎える会」を行いました。

会の中で、2年生は自分たちが育てたアサガオの種をきれいにラッピングしてプレゼンしました。きっと1年生も大切に育ててくれると思います。

3年生の学校紹介では七林小学校の良いところがたくさん伝わってきました。

4年生は手に付けた花を振りながら素敵なアーチを作り、そこを6年生と手をつないだ1年生が笑顔で入場してきました。

5年生が作ったドラえもののペンダントを嬉しそうに下げている1年生の姿はとてもかわいかったです。

このように全校の子供たちが心を込めて1年生を歓迎しました。それにこたえるかのように、1年生のお礼の言葉もとても上手でした。

また、日ごろから兄弟学級である6年生は優しいまなざしで1年生のお世話をしています。その姿がなんともほほえましく、感心します。それを見ているほかの学年の子供たちのお手本にもなっているのだと思います。

1年生を迎える会では4・5・6年生の計画委員と代表委員が中心となって会を進めることができました。司会者も言葉を担当した子供たちも学校クイズを出す子供たちも実に堂々としていました。きっと当日を迎えるまでのリハーサルでも、本番さながらに気持ちを込めて練習していたから立派に、会を盛り上げられたのでしょう。

「1年生を迎える会」を通して、体育館中に全校の子供たちの温かく優しい気持ちが広がって素敵な時間となりました。

この日の給食は、お祝いの意味も込められた「栗のおこわ」と「唐揚げ」と「青リンゴのゼリー」など、子供たちが好きなメニューが多く、みんな美味しそうに食べていました。